

令和5年10月24日、25日 中学1年生宿泊研修

10月24日、25日の2日間、国立吉備青少年自然の家での宿泊研修を行いました。

1. 入所式

「自分で準備をする・時間を守る・今していることに集中する」を目標に、研修がスタートしました。少し緊張気味の生徒たち。真っ青な空も、応援してくれています。



2. カッター訓練

1日目の山場はこのカッター訓練。鳴滝湖をカッターで漕いでいきます。右舷と左舷のパワーバランス、艇長の舵取り、皆の心と技術が一つになって、初めて前へと船が進みます。「オーエス、オーエス！」大きな声で心を揃え、うまく船を進めることができたチーム、なかなかまっすぐ進まず途中から「エスオーエス！」とかけ声が変わり爆笑したチーム、様々でしたが、どのチームも一つの目標に向け力を合わせるという貴重な体験ができました。



3. プレイホールでのアクティビティ

クライミングウォールと長縄跳びをしました。

まわす方も飛ぶ方も大変な、クラス全員での大長縄跳び。飛ぶ位置が中心から離れるにつれ、高く飛ばなくてはいけません。中心は中心で縄がまわってくるタイミングを見計らうのが難しく、最長は2回という結果でした。悔しそうな顔をしていた生徒たちもいます。またどこかでリベンジしましょうね。

一見簡単そうに見えるクライミングウォールもなかなかの難敵です。最初に手をかけるところからつまり生徒も続出。みんなで声援を送りあい、楽しい一時となりました。



4. キャンドルサービス

夕闇が訪れる中、プレイホールでキャンドルサービスを行いました。1つの炎が各班長の持つキャンドルに分け与えられ、各班がその火に命名して木にろうそくを立てていきます。「友情の火」、「努力の火」、「情熱の火」、「成長の火」、「平和の火」……それを見ながら、本当に皆がその火を灯し続けていけるようにと、誰もが願ったに違いありません。



5. オリエンテーリング

ミッションは敷地内にちりばめられたポイントの小さな立て看板を探すこと。手がかりは班長に1枚の地図だけで、それでも皆意気揚々と出発していきます。班員全員で作戦を立て、協力し合うなか、普段話したことがあまりないメンバーとも話す機会となりました。ポイントにさしかかっても見つけられずに通り過ぎる班、右往左往する班、1分遅れるごとに1ポイント減点という制限時間との闘いもあり、その進みには各班らしさが見えたオリエンテーリング。結果は後日発表します。



6. 退所式

1泊2日の宿泊研修も、振り返ってみればあっという間に終わりとなりました。いくらか失敗もしたけれど、この2日間を通して、生徒たちは自身で時間をマネジメントできる自信を付け、仲間との絆を深めました。退所に向けての掃除の際も、職員の方からの点検で、1度でオーケーをもらえた班も複数出るなど、一回りたくましくなったように思います。これからの学校生活が益々楽しみになった研修でした。施設の皆さん、大変お世話になりました。

